

令和7年度 九州沖縄農業試験研究推進会議 畜産・草地推進部会
畜産環境研究会 開催要領

九州沖縄農業試験研究推進会議 畜産・草地推進部会長
(農研機構九州沖縄農業研究センター 暖地畜産研究領域長)

1. 趣 旨

我が国の農業では、農業者や農村人口の減少・高齢化を背景として、今後の生産性の向上、生産管理の合理化・高効率化、労働の軽減化等を図るために、ロボット、AI、IoTなどのスマート農業技術の活用が課題となっている。現在、農林水産省の『スマート農業実証プロジェクト』(2019～)、農研機構の『戦略的スマート農業技術の開発・改良』(2022～)等のプロジェクト研究において、社会実装のための技術開発と現地実証が進められているが、これらの中には家畜排せつ物処理・利用に関連する研究課題が含まれており、九州管内でも九州沖縄農研および県の研究機関がこれらの課題に参画している。今年度の研究会では、長崎県でのスマート農業技術関連の研究について担当者より紹介するとともに、研究実施中の施設を見学する。

2. 開催日時 令和7年9月29日(月)13:00～9月30日(火)12:00

3. 開催場所 (1) 研究会・設計検討会 9月29日(月)13:00～17:00

〒854-0072 長崎県諫早市永昌町23-6

ながさき看護センター 3F 研修室B TEL: 0957-49-8056 (代表)

(2) 施設見学会(仮) 9月30日(火)9:30～12:00

① 〒859-1111 長崎県雲仙市吾妻町馬場名(32.814800, 130.190341)

柿田ファーム 堆肥化施設・堆肥ペレット製造

② 〒859-1111 長崎県雲仙市吾妻町馬場名(32.814764, 130.190395)

柿田ファーム ロータリ攪拌式堆肥追熟施設

4. 参集範囲 九州農政局、沖縄総合事務局、九州・沖縄各県の試験研究機関、行政機関、普及機関、家畜改良センター、大学、独立行政法人研究機関、その他関係者

5. 内 容

第1日目 研究会・設計検討会(9月29日 13:00～17:00)

(1) 研究会：家畜排せつ物処理・利用へのスマート農業技術活用の研究

1) (仮) 豚ふん堆肥ペレットの効率的生産技術の開発・実証(30分)

NPO 法人九州バイオマスフォーラム 理事長 薬師堂 謙一

2) (仮) 豚ふん堆肥の追熟技術の確立と堆肥加水装置の開発(20分)

農研機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畜産研究領域 主任研究員 アンディア フェトラ

3) (仮) 豚ふん堆肥の追熟技術の実証(20分)

長崎県農林技術開発センター畜産研究部門 主任研究員 島崎 百伽

4) (仮) 豚ふん入り複合肥料の開発と栽培試験(30分)

【講演者選定中】長崎県農林技術開発センター ○○研究部門 ○○研究員 ○○ ○○

5) 総合討議(20分)

(2) 設計検討会

(15:00 ～ 17:00 120 分)

- 1) 畜産環境関係の研究課題の検討 (①今後の新規課題, ②今年度新規課題, ③継続課題, ④成果情報候補課題)
- 2) 試験推進上の問題点、共同研究等に関する討議、その他 (推進会議、研究会の進め方等)

第2日目 施設見学会 (9月30日 9:30～12:00)

- ① 堆肥ペレット製造効率化・堆肥追熟試験実証施設 (柿田ファーム)
- ② 堆肥ペレット製造効率化・ロータリ攪拌式堆肥追熟試験実証施設 (柿田ファーム)

6. 参加申し込み (別紙) 送付先

「参加申し込み」は別紙に記入の上、○月○日 (○) までに下記 E-mail 宛でお申し込み下さい。

〒861-1192 熊本県合志市須屋 2421

農研機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畜産研究領域 肉用牛生産グループ 福重直輝

TEL: 096-242-7625 e-mail: qtikukan@ml.affrc.go.jp fukuju.naoki682@naro.go.jp

7. 資料の作成依頼

別途「事務連絡」にてお知らせいたします。